

利用者各位

「プール遊び」の中止について

令和2年6月12日

わかたけかなえ保育園
園長 山本 慎介

新型コロナウイルス感染症の流行を受けまして、当園では様々な保育活動や園行事について見直しを図っているところですが、例年7月初旬から8月末まで行っている「プール遊び」（入水を目的として水をためて遊ぶ活動）について検討を重ねた結果、業務が過剰となり安全性を担保することが困難であると判断したため、今年度は中止とすることにしました。

毎年園だよりなどでお知らせしていることですが、保育施設においてプール活動中の事故が多発していることから、「プール遊び」の安全管理、衛生管理の基準は大変に厳しいものとなっています。専任の監視役を置くことになったことが最も大きな変化ですが、児童の体調や体力も細かく丁寧に観察するようにもなりました。さらには年々上昇している夏場の気温に応じて熱中症対策や水質管理も毎年強化していることも加わって、保育園の「プール遊び」は一昔前の「暑いから」「楽しいから」と単純に実施するような活動ではなくなり、相当な事前準備と管理体制を必要とするかなり特殊な保育活動となっています。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防する観点から、すべての保育活動において使用する遊具や動線にある備品類の消毒作業が必須となっています。加えて、長らくの登園自粛から低下している子どもの体力や子ども同士の関係性の回復にも努める必要があります。そのような状況において、上記のような事前準備と管理体制を不備なく実施することはできないということが今回の中止の理由となります。

当然のことですが、子どもたちの期待や体験の必要性なども踏まえています。各クラス1回だけ実施しようか、年長児クラスだけでも実施できないかなども考えました。その結果、特別感が増すことで高揚感が生じ、子どもの行動を抑止しづらくなるのが事故の危険性をより一層高めるという結論に至ったことは、「少しだけでも」など良かれとの思いがいかに危険なものかということをお返しする機会となりました。

なお、入水を目的としない「水遊び」についてはすでに実施しているところですし、今後クラスによっては水着の持参などをお願いすることになります。詳細は、後日各クラスなどが配付します案内を参照ください。

最後になりますが、新型コロナウイルスは水を媒介に感染することはないとされていますので、学校などでもプール活動自体が禁止されたりはしていません。また、活動中や着替えなどの際に「密」の状態を避けるようにと通知されていますが、既報のとおり当園では在園児同士の日常的な接触や会話については避けることができないものとして取り扱っています。したがって、当園が「プール遊び」を中止する理由はあくまでも事故の防止であり、新型コロナウイルス感染症の感染予防ではないということを確認ください。